

東京弁護士会大運動会に参加して

会員 安井 之人



東京弁護士会大運動会

2011年11月3日（木）、東京弁護士会大運動会に参加した。この大運動会は、晴れの特異日である11月3日に、文京区六義公園運動場にて、毎年開催されている。今回で55回とのことである。弁護士、法律事務所職員や弁護士会職員、そしてその家族も参加する大きなイベントである。各競技には賞品が用意され、最後の福引にはハワイ旅行などの豪華景品もある。子供向けの競技や賞品（お菓子やおもちゃ）もあり、たくさんの子供たちが楽しそうに参加しているのが、とても印象的であった。

参加のきっかけ

今回、大運動会へ参加することになったのは、所属委員会である裁判員制度センターを担当する東京弁護士会職員の小暮隆夫さんから、「会内団体対抗リレー」への参加を誘われたのがきっかけであった。会内団体対抗リレーは、1チーム7人で、私たちのチームは弁護士と弁護士会職員の混成チームであった。私は、当初、第5走者として半周100mを走る予定であったが、誘った当人である小暮職員が、事前の走り込み中に負傷し、走ることができなくなったため、最終的に第6走者として1周200mを走ることになってしまった。

本番

本番の競技がスタートすると、私たちのチームは、第1走者から好位置をキープし、第6走者として私がバトンを受けたときには3位であった。2位の走者に

追いつきそうだったので、なんとか抜こうとしたが抜けず、そのうえ、全力疾走してしまったせいで、アンカーへバトンを渡す直前には、足がもつれ、転びそうになってしまった。本番前は、ケガだけはしないよう、軽めに走るつもりであったが、いざ始まると中々そうはいかないもので、日頃の運動不足を痛感した。しかし、アンカーの俊足にて2人を抜き、なんと、リレー初出場にして初優勝という偉業（？）を達成してしまった。チームみんなで優勝を喜んだが、監督役に回った小暮職員は走ることができず少し残念そうであった。

祝勝会

翌日には、チームのメンバーで集まって優勝を祝った。大運動会の歴史などの話もあり、その中でも驚きだったのが、大運動会の競技の一つである「私を強く抱きしめて」（男女ペアで、風船をふくらまして体で挟んで割る競技）は、自称「愛の伝道師」の小暮職員が考案したものであるという逸話であった。

大運動会に参加して

大運動会の運営には、運動会実行本部の弁護士だけでなく、多くの弁護士会職員が携わっていた。弁護士会の活動というものが、弁護士だけでなく、職員の尽力によるところも大きいということを改めて感じた経験であった。弁護士会職員と接する機会というのは、同じ弁護士会の一員でありながら、意外に少ない。今回、大運動会に参加し、競技やその後の祝勝会などを通じて、職員と交流をすることができたので、今後も、このような機会を持つことができればと思う。